

説明文書

研究課題名「建設分野の DX 人材に求められる意識と技術に関する全国調査」

この文書は、本調査の内容についてご説明するものです。よくお読みのうえ、ご回答いただけるかどうかご検討ください。

なお、この調査にご回答いただくかどうかはあなたの自由です。ご回答いただかなくても、不利益を受けることは一切ありません。

ご不明な点や疑問がありましたら、末尾の窓口まで遠慮なくお尋ねください。

□ 1. 今回の研究目的と意義について

建設業界では、BIM/CIM、ドローン測量、ICT 建設機械、AI の活用など、デジタル技術の導入が急速に進んでいます。一方で、これらを担う人材をどのように育てるべきかについては、教育の現場と建設の現場とで認識にずれがあることが指摘されています。

本研究は、建設の現場で実際に働く技術者の皆さまが、どのような意識（マインドセット）と技術（スキルセット）を重要と考えているかをアンケートによって明らかにし、高等専門学校をはじめとする教育機関のカリキュラム設計に反映させることを目的としています。

調査の結果は、本校の環境都市工学科で開発する「建設 DX 教育プログラム」の設計根拠として用いるとともに、全国教育機関が参照できる資料として公表します。

本研究は、（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）研究助成を受けて実施します。

□ 2. 倫理委員会について

ヒトを対象とした研究では、安全性が確保されているかどうか、また、研究を実施することに倫理的な問題がないかなど、研究の実施について第三者から審査を受けることが義務付けられています。

これから説明する本研究も下記の委員会の承認を得て、その後研究実施に関して、研究実施機関の長の許可を受けております。

[本研究を審査した委員会]

審査委員会の名称： 石川工業高等専門学校研究倫理委員会

審査委員会の設置者： 石川工業高等専門学校 校長

審査委員会の所在地： 石川県河北郡津幡町北中条タ 1

□ 3. 研究の方法について

① 被験者を選択した理由等・基準

建設技術者向け情報サイト「いさぼうネット」にご登録の、18 歳以上の実務技術者の皆さまを対象としています。建設の実務に携わる方の実感を広くうかがうことが目的であるためです。本校の学生および未成年の方は対象としておりません。

② 研究を実施する方法

(1) Web アンケート (Google フォーム) にご回答いただきます。お名前・会社名・メールアドレスなど、個人や所属を特定する情報は一切おうかがいしません。

(2) 設問は、前半 (必須・約 5 分) と後半 (任意・約 8 分) に分かれています。前半の終わりでそのまま送信していただけます。

前半：回答者ご自身について (7 問) / 建設 DX に必要な技術 6 分野の比較 (5 問) / 最も重要な分野・最も重要度が低い分野 (2 問) / DX 人材に求められる意識 (10 項目)

後半：技術項目 30 項目の重要度 / 今後重要性が高まると思う項目 (最大 5 つ) / 人材が不足していると感じる項目 (最大 5 つ) / 新卒者に求める水準 / 技術の普及見通し / 自由記述

(3) すべての設問は、回答をやめたい場合にいつでも中断できます。送信ボタンを押す前に画面を閉じれば、入力された内容は記録されません。

(4) いただいた回答は統計的に処理し、6 分野の重要度の重みづけ、項目ごとの集計、回答者の属性別の比較などを行います。

③ 研究期間

倫理委員会承認後 ～ 令和 10 年 11 月 30 日

□ 4. 予想される利益 (効果) と不利益 (副作用) について

(1) この調査にご回答いただくことによる、直接の利益はありません。

(2) 身体に負担のかかる検査や測定は一切行いません。

- (3) ご負担は、回答に要するお時間（前半 約 5 分、後半 約 8 分）です。
- (4) 「対応できる人材が不足していると感じる項目」など、ご自身や職場の現状を振り返る設問が含まれます。これらは個人や組織を評価するためのものではなく、教育プログラムを設計するための現状把握です。答えにくい設問は飛ばしていただいて構いません。

☐ 5. 守秘義務について

- (1) お名前・会社名・メールアドレスなど、個人を特定できる情報は一切お聞きしません。匿名化ではなく、はじめから匿名で収集します。
- (2) お名前や会社名を論文・報告書で使用することはありません。
- (3) 回答データは研究代表者が管理する本校のアカウントに保存し、解析用のファイルはパスワードを設定して校内のパソコンで管理します。外部に持ち出すことはありません。
- (4) 可搬式記憶媒体を用いてデータを移動するときは、パスワード保護をかけます。データは研究終了後 5 年を経過した時点で消去します。

☐ 6. 健康被害が発生した場合について

身体に負担のかかる検査や測定は行わないため、健康被害が生じることは想定しておりません。自主的なご参加に対する補償はありません。

☐ 7. プライバシーの保護について

集計されたデータは学会発表、学術論文などでまとめて公表されることがありますが、個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。自由記述を引用する場合は、個人や組織が特定されない形に加工します。

☐ 8. 研究参加に伴う費用負担について

この研究に参加する事による新たな費用は発生しません。

☐ 9. 研究への参加の自由と同意撤回の自由について

この調査にご回答いただくかどうかは、あなた自身の自由なご意思でお決めください。回答を途中でやめることもできます。送信ボタンを押す前に画面を

閉じていただければ、入力された内容は記録されません。お断りになっても不利益を受けることは一切ありません。ただし、無記名の調査であるため、送信後はどの回答があなたのものかを特定できず、送信済みの回答を個別に取り消すことはできません。この点をご理解のうえ、送信してください。

□ 10. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、もう一度聞きたいこと、更に詳細な情報を知りたいなどがありましたら、遠慮せずにいつでもお尋ねください。研究が始まった後でも、わからないことや心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく私たちにご連絡ください。

石川工業高等専門学校

研究代表者氏名 新保 泰輝 職名：教授（環境都市工学科）

〒929-0392 石川県津幡町北中条

TEL：076-288-8166

E-mail：shimbo@ishikawa-nct.ac.jp

以上の内容をご理解いただいたうえでご協力いただける場合は、回答フォーム冒頭の「上記に同意し、回答を開始します」にチェックを入れ、回答を開始してください。回答の送信をもって、ご同意いただいたものとみなします。

この説明文書は、アンケート案内に記載いたします。また、ご希望の方には印刷してお渡しします。